

比内地鶏

おいしさのヒミツはここにありませ 比内地鶏の飼育方法

太陽の光がふりそそぎ、澄んだ空気ときれいな水をたたえる恵まれた自然の中で、長期間じっくりと飼育されています。

豊富な運動と日光浴によって、数多くの地鶏の中でも一味違う美味しい肉質の比内地鶏が誕生します。



飼育についての3つの基準

- 1 飼育方法: 28日齢以降、平飼いまたは放し飼い
- 2 飼育密度: 1㎡当たり5羽以下 ~特定JAS(国の基準)の1㎡当たり10羽以下よりも「のびのび」
- 3 飼育期間: 雌150日以上(雄100日以上) ~特定JASの75日よりも「じっくり」

※比内地鶏・・・地域団体商標登録済み(平成19年6月)(秋田比内地鶏(雄)×ロード種(雌))

(原種鶏の改良・維持)
県畜産試験場

種鶏♂・♀の供給

比内地鶏が消費者へ届くまで



「安心」をお届けします!! 比内地鶏ブランド認証制度

「比内地鶏」ブランドに対する消費者や実需者の皆様の信頼に応えるため、比内地鶏の生産者、比内地鶏肉等の処理・加工に関わる事業者を県が認証し、安心と信頼をお届けすることを目的とした制度です。(平成20年4月創設)

※平成21年よりDNA識別の導入。

比内地鶏の可能性を追求

飼料用米でねらう美味しさアップと秋田らしさ

トウモロコシ等輸入穀物価格の上昇により、配合飼料価格の高騰が続いていることから、配合飼料の代替として飼料用米利用に関心が高まっています。

これまでの比内地鶏への飼料用米給与の試験*結果(県畜産試験場)

※配合飼料の30%までを飼料用米と代替

- 食味試験: 歯応えを残しつつも柔らかさが感じられました。
- 飼育試験: これまでの給与飼料と同等の発育が認められました。

米どころ秋田の特徴を活かした比内地鶏を生産すべく、県内各地で飼料用米の利用が広がっています。

